

申込書類記入に関する注意点

**申込書類の記入漏れ、誤記入は、「無資格」になる場合があります。
記入後は必ず確認をしてください。**

▶ 氏名

申込書一枚目の氏名記入欄は、姓・名の区別のない氏名の方は、姓の欄にご記入ください。その他、全ての書類に氏名記入欄があります。記入漏れのないようご確認ください。「指導教員からの推薦状」以外は、かならず、本人が日本語でご記入ください（漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナで記入）

▶ 対象学年

修士課程3年制、法科大学院、専門職大学院、薬学系研究科、医学系「工学」専攻などは、その課程の修業年限によって対象学年が異なる場合があります。いずれの課程でも、課程修了の最後の2年間が対象となります。

▶ 在留資格

採用年の4月に、在留資格「留学」（地区奨励は、「留学」、「研修」、「文化活動」）で、日本に在留している学生、または「難民」の認定を受けて日本に在留している学生が応募対象となります。応募時に上記の在留資格を満たさず、更新または変更予定の場合は、一旦、申込書に現在の在留資格を記入し、学校担当で、再提出予定日を記入した現在の在留カード（写）をアップロードしてください。更新または変更をしたら、最新のものをアップロードしてください。在留カード取得前の場合は、提出できない理由と提出予定日を書いた書面をアップロードし、取得後に、在留カード（写）をアップロードしてください。難民認定を受けている場合は「難民認定証明書」を在留カードの登録場所にアップロードする必要があります。いずれも、最終提出期限は採用年の3月25日となります。

▶ 大学院、5年一貫制博士課程

博士一貫制をとっている大学院は、前半2年間を修士（前期）相当とし、後半3年間を博士（後期）相当とします。そのため、奨学期間の始まる4月現在の学年が、博士一貫制1,2年を修士1,2年、博士一貫制4,5年生を博士課程2,3年生として応募対象とします。入学年月、卒業年月も前期と後期に分けてご記入ください。

▶ 指導教員からの推薦状

- (1) 経済的な困窮度は、選考の対象となりません。推薦内容は、経済面以外の内容をご記入ください。
- (2) 書面による推薦状を、被推薦者を介して学校担当者に渡す場合は、厳封してください。推薦状のデータをメールで送る場合は、パスワードを付け、被推薦者を介さずに、指導教員から直接、学校担当者へお送りください。
- (3) 推薦状は、指導教員の手書きの署名が必要となります。ワードなどで打ち込む場合も、指定用紙の内容と同じ項目を記載し、必ず、手書きの署名をしてください。
- (4) 4月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。
- (5) 学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

▶ 研究計画書・小論文

必ず本人が日本語でご記入ください。横書き800字以内（所定用紙2枚）となります。専門用語を用いず、誰にでも理解できる内容としてください。

▶ 入学年月、卒業年月、課程・学年の記入

入学年月、卒業年月、課程・学年の記入箇所が複数ありますが、それぞれ審査において必ず必要な項目となります。アップロード前に、年月の不一致、記入漏れがないよう、学校担当者の入力と「経歴書」2枚目「4月の在籍校と学年」の箇所の一致など最終チェックをお願いします。